



「いっしょに食べる」

マルコによる福音書 2章 15～17節

日本基督教団 中濃教会 牧師 西川 幸作

今、大学のチャペルアワーの時を持っていますけれども、今日は教会での礼拝について少しお話しをしたいと思います。教会での礼拝ですけれども、約2000年前に最初の教会ができて、そのときから今まで行われ続けています。ちなみに、その時代の途中で学校やもしくは修道院とかでも行われるようになったのです。この最初の教会の礼拝では、毎回、出席者が一緒に讃美歌を歌ったり、お祈りしたり、そして聖書朗読があり、その聖書からのメッセージ、説教がありました。それは今の教会やこの学校のチャペルアワーでもそうですが、昔も今も変わらず行われています。しかし一部のカトリック教会という教会を除いてですが、一つです。最初の教会の礼拝にはあって今の礼拝にはないものがあるのです。それは一緒に食事をするということです。最初の教会の礼拝では、パンを分け合って食べたり、ぶどう酒を飲んだり、またスープがあったり、オリーブオイルを使った魚料理や羊や山羊の料理などもあったと思います。それらを皆で分け合って食べていたんですね。

中濃教会を含むいわゆるプロテスタント教会の、毎週日曜日の礼拝では、年齢を越えて、いろんな背景をもった人々が出席しますが、そこで一緒に食事をするということは少なくなっています。何故かという、「食事をしなくてもしっかり礼拝が成り立つんだ」という考え方が出てきたからです。それはどういうことかと言うと、諸説ありますが一つ言えることは、礼拝で聖書朗読があってそして説教とか奨励がありますね、これらは神様やイエス様の言葉が記されている聖書を学び、わたしたちの心の中にそれを納める、心を養う時間です。そうしますと、もしいろいろ悩みがあって心に空腹感があれば、聖書の言葉を聴くことで、励まされて、そして心が満たされるのです。ただ体の空腹が満たされることはありません。簡単に言うと、教会は体の方よりも心の方が満腹になるとそれでOKですよ、っていうことになって、教会の礼拝の中で実際に食事をする機会を減らしてきたのです。

でもね、やっぱりわたしは思うのです。『せっかく集まったんだから、一緒にご飯も食べればいいんじゃないのかなあ』って。そうすると出席者の中でお互いちょっと距離のある人がいたとしても一緒に食べると、もしかしたら仲直りができるかも知れないじゃないですか。

一番最初の教会の礼拝は、やはりこの一緒に食事をするっていうことを大切にしていたのです。

こんなことを言いながら、では中濃教会では毎週食事会をやってるかっていうと、、、正直やっていません。実際食事をするとなると、準備が大変で、できないんですね。ただ、『食事会ができれば』とい

う思いはあります。

ここで今日の聖書の箇所を見ましょう。食事について書かれているからです。イエス様が登場します。そのイエス様はレビという徴税人の家にいます。今、徴税人と言いましたが、この人はどういう人なのかを説明しましょう。イエス様の時代、イスラエルの人々が暮らす地域はローマ帝国の支配下にありました。そして人々はローマに税金を納めなければならなかったのです。そこで徴税人という税金を取り立てる人が出てくるのですね。そうしますと、税金を取られるイスラエルの人々からすると、この徴税人は嫌われ者でした。なぜならば人々は『元々この土地はわたしたちの土地じゃないか。わたしたちがなぜ侵略者のローマに税金を払わないといけないのか』、そう考えていたからです。

しかしです。イエス様はその嫌われていた徴税人の家に行って、そして一緒に食事をしたのですね。イエス様もイスラエル人ですね。けれどもイエス様はその徴税人のレビを嫌っていないんですね。それもレビだけではなくて、イエス様の周りには、多くの徴税人や罪人もいたと書かれています。この人たちもイスラエルの人々から嫌われていました。しかしイエス様はその人たちも含めて一緒にご飯を食べているんですね。

この様にイエス様と一緒にご飯を食べていますと、その人たちは「わたしは皆に嫌われているけど、こんなわたしを認めてくれている人がいる。イエス様がわたしを認めてくれた。なんだかまた生きて行こうって気持ちになれるなあ!」。こういう風に前向きになれるんですね。楽しく食事をしているとそうなります。

今の聖書箇所では罪人とかでしたが、そうでなくてもわたしたちを含むどういう境遇の人々でも食事するという事は、人を人たらしめることにつながるんじゃないかな、と思えるのです。

そしてこれはもはや礼拝の中での食事ということだけではなくて、普段の時、朝昼晩の食事にも言えることです。その喩として、わたし西川のことを話させてください。わたしは妻との二人暮らしです。この二人、今まであまり、一緒にご飯を食べるってことを大切にしていなかったんですね。バラバラに朝ご飯を食べて、晩ご飯を食べることが多かったんです。だからケンカが多かったのかな?けれども『一緒にご飯を食べることが実はとっても大切なんだ』ということに最近気づいたのです。イエス様からそれを学んだのですけれども、それ以来なるべく一緒にご飯を食べています。そうすると心が通うんですね。食べながら、たわいもない話でもいいんです! 今日一日あった出来事を話し合うんですね。

わたしたち、とても忙しいときは仕方がないかも知れないけれども、できるならば家族で、仲間です時間を合わせて一緒に食事をして語り合えれば良いですね。

一言お祈りいたします。

神様、今日のチャペルアワーでは、食事をする事の大切さを学ぶことができました。イエス様がされたように一緒にご飯を食べたり、そこで語り合ったりすることができれば、自ずとお互いこころがほぐれて、また本来の親しい関係に戻ることができます。その様な関係であることを切に望みます。どうかその様にわたしたちをお導きください。このお祈りをイエス様のお名前によってお捧げいたします。アーメン。